

## 平成14年度公共事業再評価の概要と今後の実施方針

### 【土木部所管事業】

#### 再評価実施理由

事業採択後5年間経過した時点で未着工

事業採択後10年間を経過した時点で継続中

事業採択前の準備・計画段階で5年間を経過したもの

再評価実施後5年間を経過した時点で未着工または継続中

事業を取り巻く社会経済情勢の変化により再評価が必要

整理番号	資料	事業名 工区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針(案)		
1	1	道路改築事業 (国)291号湯谷越バイパス 大和町～小出町	L=5.43km W=6.5(15.5)m 内トンネル1	S59 (19)	6,173 (5,963)	97%	観光、リゾート地域と開越道小出ICとのアクセス向上のため整備の必要性は高い。 15年度の完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
2	30	道路改築事業 (国)292号猿橋拡幅 新井市	L=3.78km W=6.5(15.5) 内トンネル1 橋梁5	H5 (10)	4,691 (1,443)	31%	上越地域から長野県飯山市に至る最短ルートであり、両県の交流促進及び物流のため整備の必要性は高い。 H7.7.11災害以降の河川計画との調整も進み事業の促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
3	31	道路改築事業 (国)405号高土拡幅 牧村・上越市	L=2.95km W=6.5(16.5) 内橋梁1	H1 (14)	4,570 (2,843)	62%	牧村から広域市町村圏中心城市である上越市への最短ルートであり整備の必要性は高い。用地買収の進捗が順調となり、今後の事業の促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
4	54	道路改築事業 (国)117号西小千谷バイパス 小千谷市	L=3.05km W=7.0(18.0)m 橋梁1	S62 (16)	3,900 (3,729)	96%	市街地内の交通混雑を解消を目的とした環状道路として整備の必要性は高い。 国道291号交差点と一部歩道を残し車道は供用済みであり16年度の完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
5	55	道路改築事業 (国)289号大江道路 下田村	L=1.19km W=6.0(9.0)m トンネル1、橋梁1	S61 (17)	3,300 (2,668)	81%	県境交通不能区間を解消するため、国土交通省・福島県・新潟県の3者で整備を行っている事業である。新潟県施工区間はトンネルがほぼ完了し、今後は事業の促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
6	56	道路改築事業 (国)345号芦谷拡幅 山北町	L=2.70km W=6.0(10.5)m トンネル3、橋梁1	S61 (17)	8,000 (4,260)	53%	県立公園である「笹川流れ」への唯一の路線であり、国道7号の代替路線としても整備の必要性は高い。関係機関のJRRと漁港との協議も整い、今後の事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
7	57	道路改築事業 (国)351号旭町バイパス 小千谷市	L=1.40km W=6.5(18.0)m 橋梁1	S63 (15)	7,410 (6,435)	87%	信濃川により分断されている市街地の一体性向上と現道の交通混雑を緩和のため整備の必要性は高い。連携事業である土地区画整理事業が事業断念したが、用地買収の準備は整っており今後の事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提出案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針 (案)		
8	58	道路改築事業 (国)353号関バイパス 塩沢町	L=0.76km W=6.5(16.0)m 跨道橋1	S63 (15)	2,700 (2,354)	87%	上越新幹線湯沢駅並びに開越自動車道から塩沢町石打地区、中魚沼及び長野県の観光リゾート地への最短ルートとして整備の必要性は高い。J R 跨道橋の施工はH15年度完了し、全線供用はH16の見込みである。	継続	継続が妥当	継続
9	59	道路改築事業 (国)460号新津東バイパス 新津市	L=3.60km W=6.5(18.0)m 橋4	S52 (26)	10,300 (9,264)	90%	磐越自動車道新津ICと国道403号を結び地域産業支援のため整備の必要性は高い。用地買収は完了していることから今後は事業の促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
10	60	道路改築事業 (国)460号巻南バイパス 巻町	L=9.84km W=6.0(10.0)m トンネル1、橋2	S49 (29)	9,800 (5,296)	54%	北陸自動車道巻湯東ICと日本海夕日ラインとを連絡し地域の産業、観光支援のため整備の必要性は高い。J R や河川管理者との調整も進展しており事業の促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
11	2	特殊改良1種事業 (国)405号大割野拡幅 津南町	L=1.50km W=6.5(13.0)m	H6 (9)	1,032 (838)	81%	秋山郷への唯一の道路であり、生命線確保のため整備の必要性は高い。 市街地近郊の大割野工区は完了し、今後の事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
12	3	特殊改良1種事業 (国)405号天水越拡幅 松之山町	L=1.39km W=6.5(8.5)m	H5 (10)	1,096 (874)	80%	大規模イベント及び観光地へのアクセス向上のため整備の必要性は高い。 集落部分は完了し、今後の事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
13	6	特殊改良1種事業 (一)妙照寺佐和田線長木バイパス 佐和田町	L=1.82km W=6.0(10.5)m	H5 (10)	945 (664)	70%	佐和田町内の中心市街地や医療施設、学校等へのアクセス向上のため整備の必要性は高い。用地買収の目途がつき、事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
14	32	新潟空港アクセス道路整備事業 (主)新潟村松三川線下山～津島屋 新潟市	L=1.82km W=13.0(28.0)m	H5 (10)	16,213 (14,638)	90%	日本海東北自動車道新潟空港I・C及び一般国道7号から新潟空港へのアクセス道路であり、必要性は高い。平成17年度の供用を目指し整備促進中である。	継続	継続が妥当	継続
15	4	地方特定道路整備事業 (一)鶴岡村上線岩崩バイパス 朝日村	L=2.40km W=6.0(8.5)m	H4 (11)	1,450 (1,079)	74%	村上市から山形県への自然を生かした観光施設へのアクセス道路として必要性が高い。現道拡幅部分は供用済みであり、B P 部も用地買収済みである。	継続	継続が妥当	継続
16	5	地方特定道路整備事業 (主)十日町当間塩沢線大沢山トンネル 十日町～塩沢	L=6.82km W=6.0(8.5)m	H4 (11)	14,365 (13,669)	95%	観光、リゾート地域と開越道塩沢石打ICとのアクセス道路として必要性が高い。14年度にトンネルの供用を図り、明かり部の事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
17	33	地方特定道路整備事業 (主)新潟寺泊線北場バイパス 新潟市	L=2.82km W=6.5(16.5)m	H5 (10)	6,415 (6,015)	94%	国道8号と国道116号を直結し、流通センター、新潟市街地へのアクセス向上のため整備の必要性は高い。平成16年度の供用を目指し整備促進中である。	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提出案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針 (案)		
18	61	地方特定道路整備事業 (主) 柏崎高浜堀之内線電光バイパス 堀之内町～小千谷市	L=2.06km W=6.0(8.5)m	H1 (14)	4,195 (1,316)	31%	豪雪地域である本地域では、冬期間の孤立的状況の解消や観光道路として地元の要望が強い。用地買収はほぼ完了しており、事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
19	62	緊急地方道路整備事業(交付金A) (一) 鹿瀬日出谷線夏渡戸拡幅 鹿瀬町	L=3.00km W=6.0(8.5)m	H5 (10)	1,250 (1,017)	81%	鹿瀬町中心部と同町日出谷地区の各集落とのアクセス向上のため整備の必要性は高い。残事業に大きな構造物もなく事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
20	63	緊急地方道路整備事業(交付金A) (主) 小出守門線須川トンネル 守門村	L=0.88km W=6.0(8.5)m	H5 (10)	3,440 (2,917)	85%	一般国道252号の代替路線として自動車通行不能区間を解消する必要性は高い。平成15年度完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
21	64	緊急地方道路整備事業(交付金A) (主) 燕分水線大曲拡幅 燕市～吉田町	L=2.77km W=12.0(22.0)m	H5 (10)	3,250 (2,534)	78%	吉田町、燕市の工業団地と北陸自動車道三条燕ICを結び渋滞緩和、輸送効率改善のため整備の必要性は高い。用地買収に目途がつき事業促進が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
22	7	河川総合開発事業 入川ダム 相川町	堤高 52.5m 堤頂長 165.0m 総貯水容量 1,530千m3	H5 (10)	18,195 (330)	2%	ダム建設予定地に存在する旧鉱山跡地の対策工事費が大幅に増加するほか、水需要量の減少により利水としてのダム事業の緊急性が薄れた。 治水対策については流域の治水安全度を1/50とするが、当面は1/30の治水安全度を確保する。	中止	中止が妥当	中止
23	34	海岸侵食対策事業 長浜海岸 上越市	人工リーフ 3基 (L=617m) 離岸堤 3基	S48 (30)	1,777 (1,527)	86%	背後の集落、国道等の防護や海岸の利用面から、事業の必要性は依然として高い。平成17年度の事業完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
24	35	海岸侵食対策事業 平松海岸 両津市	人工リーフ 4基 (L=450m) 消波工 L=142.5m	S59 (19)	1,392 (1,192)	86%	背後に集落や市道が接しているため、越波防止対策の必要性は依然として高い。平成15年度の事業完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
25	36	海岸侵食対策事業 両尾海岸 両津市	人工リーフ 6基 (L=700m) 離岸堤 3基	S54 (24)	1,513 (1,219)	81%	背後に集落や県道が接しているため、越波防止対策の必要性は依然として高い。平成17年度の事業完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
26	37	海岸局部改良事業 碁石海岸 山北町	人工リーフ 1基 (L=150m) 階段工 2基	S63 (15)	802 (584)	73%	背後の集落の防護や海岸の利用面から、事業の必要性は依然として高い。平成17年度の事業完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
27	38	海岸局部改良事業 片野尾海岸 両津市	人工リーフ 4基 (L=437.5m) 離岸堤 4基	S52 (26)	1,092 (723)	66%	背後に集落や県道が接しているため、侵食、越波防止対策の必要性は依然として高い。平成17年度の事業完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 工区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提出案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針 (案)		
28	8	広域基幹河川改修事業 能代川 新津市・五泉市・村松町	改修画延長 L = 21,000m 計画高水流量 Q = 1,200m <sup>3</sup> /s	S22 (56)	42,469 (34,371)	81%	高速・広域交通体系の整備により地域の開発が進んでいることもあり、流域の生命・財産を守るためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
29	9	広域基幹河川改修事業 滝谷川 村松町	改修画延長 L = 2,623m 計画高水流量 Q = 200m <sup>3</sup> /s	S48 (30)	3,450 (2,989)	87%	用地買収が完了し、計画区間最上流部の橋梁を架け替えることで事業の暫定改修が完了するため事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
30	10	広域基幹河川改修事業 越道川 松之山町	改修画延長 L = 2,000m 計画高水流量 Q = 120m <sup>3</sup> /s	S56 (22)	768 728	95%	平成15年度改修事業完了を目指し施工中であり、早期の一連区間効果発現するためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
31	11	広域基幹河川改修事業 城ノ入川 塩沢町	改修画延長 L = 2,910m 計画高水流量 Q = 110m <sup>3</sup> /s	S49 (29)	2,430 (1,902)	78%	事業区間上流部での流下能力の不足により浸水被害が頻発しているため、浸水被害の軽減を図る必要があることから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
32	12	広域基幹河川改修事業 落堀川 中条町・加治川村	改修画延長 L = 4,350m 計画高水流量 Q = 310m <sup>3</sup> /s	S42 (36)	6,911 5,184	75%	用地買収、附帯構造物の設計が完了しているが市街地で計画している捷水路区間が完成していないことから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
33	39	広域基幹河川改修事業 桑曾根川 上越市・三和村	改修計画延長 L = 9,500m 計画高水流量 Q = 270m <sup>3</sup> /s	S46 (32)	11,520 (3,904)	34%	平成7年7月の集中豪雨により浸水被害を受けており、また、上流部においても河川の狭小・蛇行が原因で浸水頻度も高いことから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
34	40	広域基幹河川改修事業 飯田川 上越市	改修計画延長 L = 6,200m 計画高水流量 Q = 290m <sup>3</sup> /s	S43 (35)	6,282 (1,726)	27%	平成7年7月の集中豪雨により浸水被害を受けており、また、上流部においても河川の狭小・蛇行が原因で浸水頻度も高いことから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
35	41	広域基幹河川改修事業 郷本川 寺泊町・和島村	改修計画延長 L = 7,315m 計画高水流量 Q = 340m <sup>3</sup> /s	S63 (15)	19,422 (5,734)	30%	捷水路区間の改修が未了のため上流市街地での浸水被害がたびたび起きていることから早期に捷水路の通水をする必要があり、事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
36	42	広域基幹河川改修事業 鯖石川 柏崎市・刈羽村	改修計画延長 L = 14,144m 計画高水流量 Q = 1,100m <sup>3</sup> /s	S21 (57)	29,594 (14,784)	50%	平成7年7月、8月の集中豪雨により甚大な浸水被害を受けた。本川工区は床上浸水対策特別緊急事業により、治水安全度の向上を図ってきているが、度重なる浸水被害を解消するためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
37	43	広域基幹河川改修事業 鶴川 柏崎市	改修計画延長 L = 13,620m 計画高水流量 Q = 600m <sup>3</sup> /s	S25 (53)	19,860 (13,240)	67%	平成7年7月の集中豪雨により中流域が浸水被害を受けており、柏崎学園まちづくり計画との連携実施を図りながら、中流域の治水安全度を向上させるためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針 (案)		
38	44	広域基幹河川改修事業 米山川 柿崎町	改修計画延長 L = 2,000m 計画高水流量 Q = 75m <sup>3</sup> /s	H1 (14)	3,600 (2,436)	68%	上流部の老朽化した堰と河川の蛇行により浸水被害が多発しており、浸水被害解消のためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
39	45	広域基幹河川改修事業 吉川 吉川町・柿崎町	改修計画延長 L = 5,700m 計画高水流量 Q = 475m <sup>3</sup> /s	S30 (48)	5,716 (2,031)	36%	流域には住宅団地・工業団地が密集しており、河川の流下能力不足により浸水被害が起きており、その解消のためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
40	46	広域基幹河川改修事業 戸野目川 上越市	改修計画延長 L = 10,330m 計画高水流量 Q = 165m <sup>3</sup> /s	H5 (10)	17,000 (2,283)	13%	本支川バランスから保倉川本川と事業の調整をしてきたが本川の改修が概成したため、上流部の断面狭小による溢水被害の解消のためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
41	47	広域基幹河川改修事業 濁川 上越市・頸城村	改修計画延長 L = 3,000m 計画高水流量 Q = 35m <sup>3</sup> /s	H5 (10)	2,610 (535)	20%	本支川バランスから保倉川本川と事業の調整をしてきたが本川の改修が概成したため、上流部の断面狭小による溢水被害の解消のためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
42	65	広域基幹河川改修事業 新井郷川 新潟市・豊栄市	改修計画延長 L = 10,700m 計画高水流量 Q = 110m <sup>3</sup> /s	S60 (18)	7,000 (2,481)	35%	平成10年8月の集中豪雨により甚大な浸水被害を受けており、水辺の楽校プロジェクトとの連携実施を図りながら、流域の治水安全度を向上させるためにも事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
43	66	広域基幹河川改修事業 猿橋川 中之島町・長岡市・見附市	改修計画延長 L = 15,800m 計画高水流量 Q = 220m <sup>3</sup> /s	S40 (38)	26,500 (18,294)	69%	圃場整備事業や公共下水道整備事業、宅地開発等の土地利用の変化により下流への流出量が増えてきており、平成7年7月の梅雨前線豪雨により破堤、流域に多くの被害をもたらす等の浸水被害がたびたび起きていることから、事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
44	67	広域基幹河川改修事業 洩海川 越路町・長岡市	改修計画延長 L = 11,200m 計画高水流量 Q = 1,600m <sup>3</sup> /s	S54 (24)	28,800 (9,050)	31%	平成13年に渋海頭首工が完成した事により暫々定計画での改修が完了したが、過去の水害実績から地元からの改修の促進を望む声が高く治水安全度もまだ十分ではないため暫定計画での改修が必要であり、事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
45	68	広域基幹河川改修事業 太田川 長岡市	改修計画延長 L = 5,400m 計画高水流量 Q = 550m <sup>3</sup> /s	S47 (31)	23,323 (6,863)	29%	宅地開発等の土地利用の変化により都市河川化が進み長岡市街地の水害ポテンシャルが高くなってきているため早急に治水安全度を高めるため、事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
46	69	広域基幹河川改修事業 伊田川 六日町・塩沢町	改修計画延長 L = 2,780m 計画高水流量 Q = 130 m <sup>3</sup> /s	S57 (21)	3,549 (1,558)	44%	未改修区間の上流部では河積の狭小が原因で浸水頻度が高いことから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
47	70	広域基幹河川改修事業 石川 村上市・神林村	改修計画延長 L = 12,423m 計画高水流量 Q = 430m <sup>3</sup> /s	S49 (29)	20,000 (4,070)	20%	近年では、平成7年および平成9年の洪水により浸水被害が出ており、浸水区域には神林村役場等の公共施設やデイサービスセンター等の水害弱者施設があるため、それらを洪水から守るため事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
48	71	広域基幹河川改修事業 小阿賀野川	改修計画延長 L = 6,360m 計画高水流量	H5 (10)	33,976 (9,342)	27%	高速・広域交通体系の整備により流域の開発が進んでいること、平成12年7月の集中豪雨により甚大な被害を受けたことから、流域の浸水被害解消のためにも事業の必	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 工区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提出案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針	
							再評価の概要	実施方針 (案)			
		新潟市・新津市・横越村	Q = 1,200m <sup>3</sup> /s					要性は依然として高い。			
49	13	統合河川整備事業(1級) 須川 越路町・小千谷市	改修画延長 L = 7,400m 計画高水流量 Q = 40m <sup>3</sup> /s	S54 (24)	4,719 3,913	83%		用地買収が完了しているが事業区間に中抜け区間があるため、近年においても浸水被害があることから事業の必要性は依然として高い。	継続	継続が妥当	継続
50	14	砂防事業 貝屋川 加治川村	砂防えん堤工 H = 12.0m L = 109.0m 付替林道工 L = 1,386m	H5 (10)	992 (702)	71%		平成10年8月の集中豪雨により河道埋塞、越水被害等の災害が発生した。現在も山腹崩壊、溪岸浸食等が進行しており、事業の必要性は高い。本堤工に着手しており18年度完了が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
51	15	雪崩対策事業 中深見 津南町	全体延長 L = 630.0m 雪崩減勢工 L = 630.0m	H5 (10)	1,750 (1,394)	80%		過去に、駐車していた車7台、車庫が雪崩の被害を受けており、現在でも毎年小規模な雪崩が発生している。被害想定区域には人家、県道があり、孤立化の恐れがあるため、事業の必要性が高い。 平成17年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
52	48	地すべり対策事業 峠 松代町	集水井 9基 横断リソグ 10,100m 水路工 250m 明暗渠工 1,200m 暗渠工 450m 土留工 400m 法枠工 800m <sup>2</sup> 床固工 2基	H5 (10)	705 (631)	90%		平成11年、12年に地すべりが発生し、未対策箇所には亀裂等の地すべりの兆候が認められる。未対策箇所の被害想定区域には、国道が存在し、事業の必要性は依然として高い。平成16年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
53	49	地すべり対策事業 桑曾根 三和村	集水井 5基 横断リソグ 23,630m 水路工 3,000m 明暗渠工 470m 暗渠工 2,590m 土留工 65m 床固工 10基	H5 (10)	639 (539)	84%		平成14年3月にも地すべりが発生し、未対策箇所には地すべりの兆候が認められる。被害想定区域には桑曾根集落、県道、村道が存在し、事業の必要性は依然として高い。平成16年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
54	50	地すべり対策事業 野中 安塚町	集水井 4基 横断リソグ 15,240m 水路工 3,192m 土留工 1,163m 床固工 4基 法枠工 50m <sup>2</sup> 床固工 1基	S59 (19)	758 (638)	84%		平成10年、12年にも地すべりが発生し、未対策箇所には地すべりの兆候が認められる。未対策箇所の被害想定区域には真茨平集落、県道、町道が存在し、事業の必要性は依然として高い。平成16年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
55	51	地すべり対策事業 蓬平 松代町	集水井 11基 横断リソグ 8,980m 水路工 1,432m 土留工 415m 床固工 1基	S62 (16)	1,061 (896)	84%		平成10,11年にも地すべりが発生し、未対策箇所には地すべりの兆候が認められる。未対策箇所の被害想定区域には蓬平集落、県道が存在し、事業の必要性は依然として高い。平成17年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続

整理番号	資料	事業名 工区名 市町村名	計画概要	採択年度 (経過年)	全体事業費 (既投資額) 百万円	事業費 で見た 進捗率	公共事業再評価委員会提出案		公共事業再評価委員会 の意見	今後の 実施 方針
							再評価の概要	実施方針 (案)		
56	52	地すべり対策事業 小見 能生町	集水井 2基 横溝-リツグ 23,270m 水路工 2,810m 明暗渠工 3,040m 吹付工 4,250m	S47 (31)	1,457 (1,357)	93%	未対策の箇所には小崩壊等の地すべりの兆候が認められ、その被害想定区域には岩平集落が存在することから、事業の必要性は依然として高い。平成16年度概成が見込まれる。	継続	継続が妥当	継続
57	53	急傾斜地崩壊対策事業 戸中 相川町	全体延長 290m 落石防護擁壁工 102m 吹付工 2,700m <sup>2</sup> 法枠工 690m <sup>2</sup> ボケット式落石防護網工 140m	H5 (10)	443 (402)	91%	平成5年2月に隣接する地区で、落石により住宅を一部破損するがけ崩れが発生した。当地区も斜面状況が同様であり、がけ崩れが発生する恐れが非常に高い。保全対象には、人家30戸・町道・県道があり、事業の必要性は高い。平成15年度概成予定である。	継続	継続が妥当	継続
58	16	街路事業 3・3・4飯門田新田線 上越市	L=940m W=22～36m JRこ線橋 L=180m	H4 (11)	5,250 (2,663)	51%	高田地区は、JR信越線により東西に分断されており、西側の五智中田原線の供用(H8)と新興住宅地域の増加により、本路線を通って東側の中心市街地へ交通量が年々増加していることから、このバイパスの必要性は非常に高い。平成10年代後半完了予定である。	継続	継続が妥当	継続
59	17	街路事業 3・4・11西新発田五十公野線(本町工区) 新発田市	L=690m W=16～22m JRこ道橋 L=32m (BOX延長)	H4 (11)	6,800 (5,170)	76%	JR羽越本線を挟み、東側に民間開発による宅地造成が進み、西側についてはショッピングセンター等が立地したことにより、JR羽越本線を横断する交通量が増大している。	継続	継続が妥当	継続
60	18	地方特定道路整備事業(街路事業) 3・4・5鰐島浦佐線 大和町	L=720m W=16m	H5 (10)	734 (704)	96%	本路線の沿線には小・中学校や国際大学があり、歩行者の安全確保のため事業の必要性は高い。 H15年度完了予定である。	継続	継続が妥当	継続